

施工にあたっての注意

PUH+ふかし枠を施工する場合、以下の項目について確認してください。
以下の状態でないと、**障子脱落**の可能性があるので、必ず商品施工時の**補強が必要**となります。

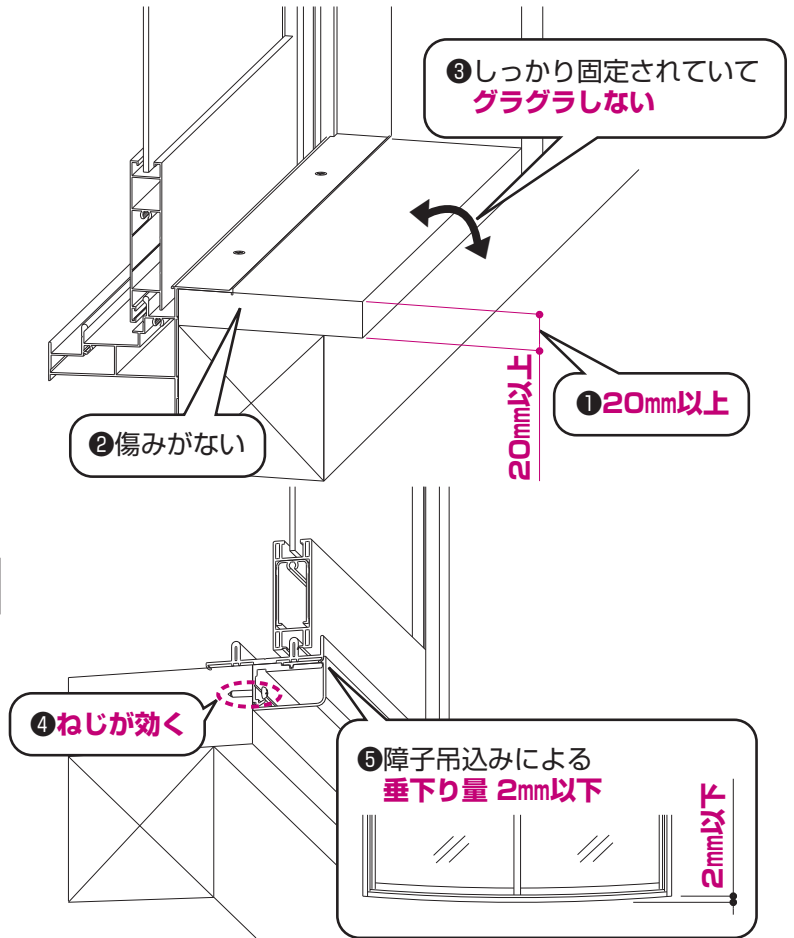
■窓額縁の状態確認

No.	項目	チェック欄
①	木額縁見付20mm以上あること	
②	木額縁に傷み(腐朽・割れ)がないこと	
③	木額縁が窓台にしっかり固定されていること	
④	木額縁にねじが効くこと	
⑤	障子吊込みによる下枠垂下り量2mm以下であること	

●上記にひとつでも当てはまらない場合は、補強例を参考に、額縁の補強を十分に行ってください。

〔W1600×H1300で、障子重量は
単板：約10kg/枚、複層：約16kg/枚となります。〕

- カーテンレール対応ふかし枠の場合は、下枠部と同様に上枠部にも荷重が加わります。
- 主に入りに使用されるまたぎ段差の部分に取付ける場合、必ず商品施工時に木額縁の補強が必要となります。



■ふかし枠補強材(造作材)取付方法

①納まりの確認

躯体の状態を確認し、躯体に少なくとも455mmピッチでねじが打て、かつ、ねじが効くこと

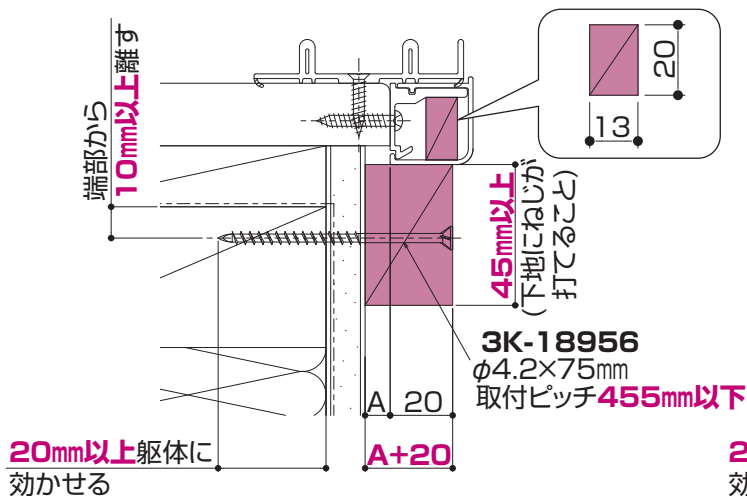
②補強材の準備

下記断面形状以上の木材を用意する

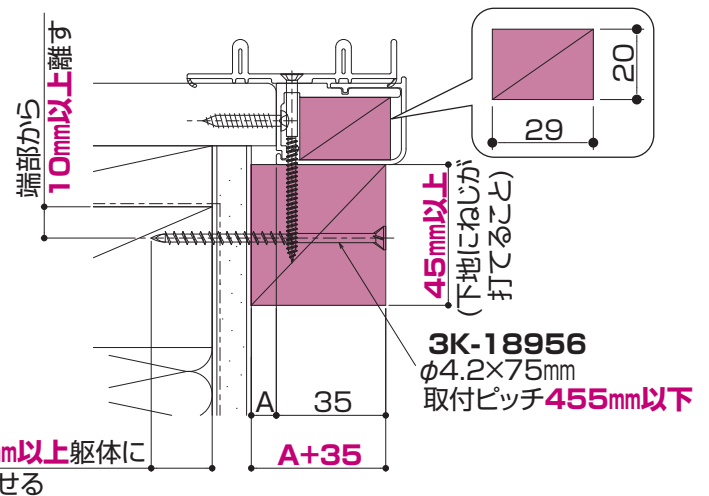
③補強材の取付

取付ねじはφ4mm以上のものを使用し、20mm以上躯体に効かせる

※躯体の状態が確認できない場合やねじが効かない場合は、床からふかし枠を支える補強を造作等で行ってください。



ふかし枠25



ふかし枠40

(Aは木額縁の室内側への出幅)